



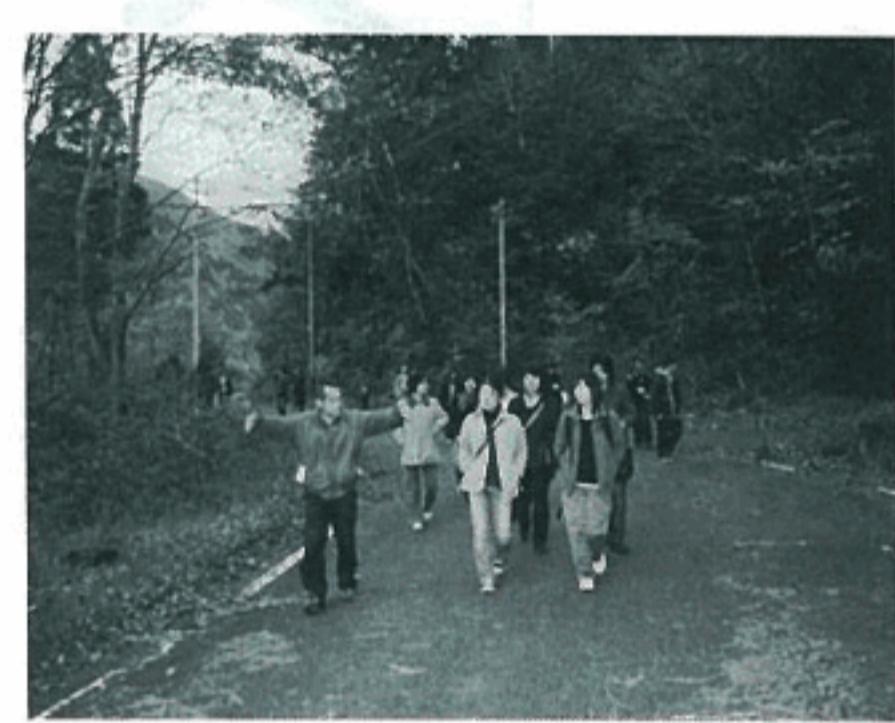
原田議員

- 問**
- 1、新町建設の取り組みについて伺う
 - 2、行財政改革の取り組みが必要ではないか
 - 3、川根地域の将来をどのように考えているか
 - 4、森林セラピーでまちおこしを提案する

質問 「新町建設計画」の序論に、「2町は合併することによって、行政サービスの向上や、財政基盤の強化等を図り、2町の資源を一体的に活用したまちづくり・地域の活性化を目指す」とある。新町建設の取り組みについて町長の所信を伺う。

1、従来から、「2町合併でも財政的には十分やつていける」という説明がなされてきたが、昨年見直した10年間の財政シミュレーションは、自主財源の小さな当町においては、厳しい財政運営が強いられる可能性を示唆するものとなつていい。新町の建設計画の見直しが必要と思われるが、如何か。

質問 2、先進的な自治体の間で議論が重要かと



うさぎ辻ハイキングコース
(森林セラピー・ロードに最適!)

ミュレーションは、新町建設計画による、若者定住促進住宅整備事業、総合支所建設事業、防災行政無線整備事業、地域ブロードバンド整備事業等の主要事業を実施した場合の財政状況を考察する観点から作成したもの。

町長 総務省の新たな行合の財政状況を参考して、外部の有識者の参加を得た「行財政改革」の取り組みが盛んである。

当町としてはどう対応していくのか。

現在の財政状況は極めて厳しい状況であり、交付税の改革は今後も進んでいくので、一層の自助努力により経費の削減を始め幅広い改革を進めていかなければならぬと考へている。

質問 3、大多数の川根地域住民は、「未来永劫に川根は一つ」という固い信念を持っており、県の推進する小規模自治体再編への動きに川根地域住民の関心が再燃し出している。町長は川根地域の将来をどのように考え、としているのかを伺う。

町長 地域課題が共通し

ている川根地域は連携が大事であり、必ず来る地方自治再編の第2の波を受けとめるためにも川根地域は一体となつた取り組みが必要と考えている。過日の県合併推進審議会の意向調査時の、具体的に合併する可能性は

といふべきが、専門的な見地ある

東名との連携づけた地域

といふべきが、専門的な見地ある

いは財政のプロとともに

といふべきが、専門的な見地ある

いは財政のプロとともに

いは財政のプロとともに